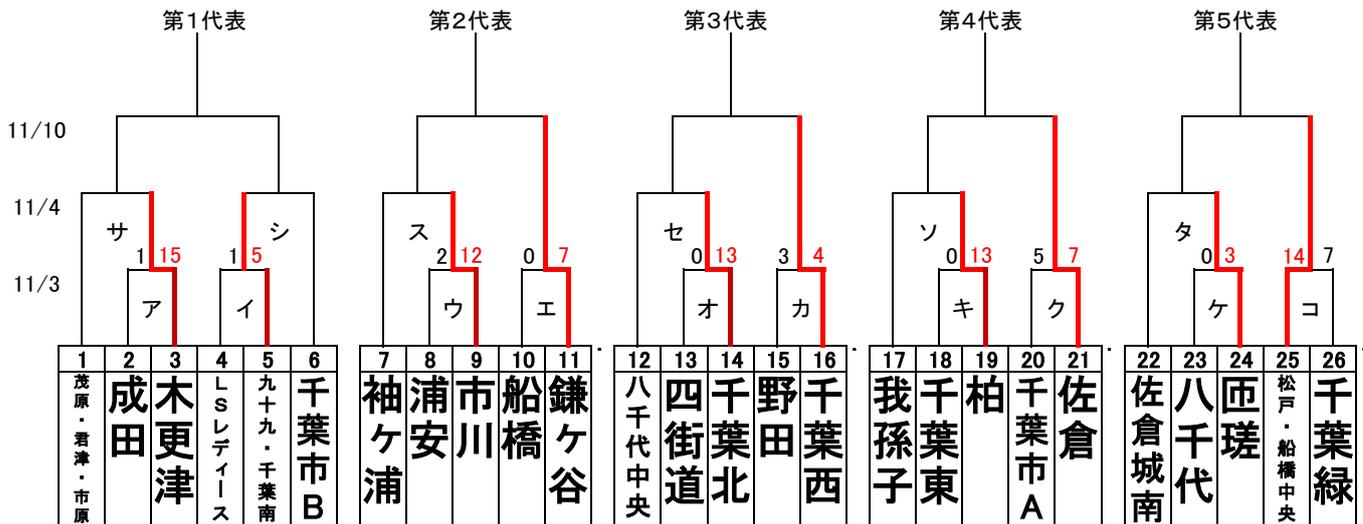
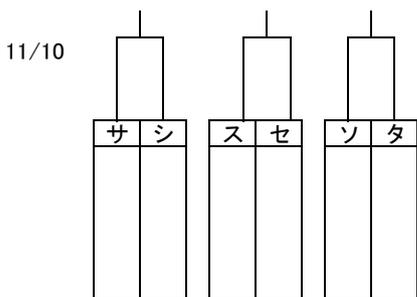
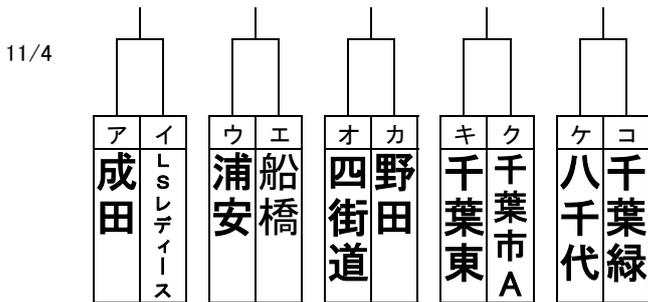


2024年度 第18回 成田国際空港杯フレッシュマン大会



※敗者戦は代表戦へは繋がりません。
 ※※審判の方は7時30分からの朝ミーティングに参加してください※※
 (第一試合の1時間半前に朝ミーティングを行います)



日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド	日付	記号	審判	グラウンド
11/3	1A	2	木更津G	11/4	2A	2		11/10	3A	1									
11/3	1B	2	九十九G	11/4	2B	2		11/10	3B	1									
11/3	1C	2	千葉北G	11/4	2C	2		11/10	3C	1									
11/3	1D	2	柏G	11/4	2D	2		11/10	3D	1									
11/3	1E	2	千葉緑G	11/4	2E	2													

11月3日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
1A	木更津G	粕谷競技委員	成田	1	-	15	木更津	八千代	0	-	3	匝瑳				
1B	九十九G	中島理事	LSレディース	1	-	5	九十九・千葉南	船橋	0	-	7	鎌ヶ谷				
1C	千葉北G	山本競技委員	四街道	0	-	13	千葉北	浦安	2	-	12	市川				
1D	柏G	立松競技委員	千葉東	0	-	13	柏	野田	3	-	4	千葉西				
1E	千葉緑G	椿理事	松戸・船橋中央	14	-	7	千葉緑	千葉市A	5	-	7	佐倉				

11月4日(月)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
2A	茂原G	大羽澤理事	茂原・君津・市原		-		木更津	千葉東		-		千葉市A				
2B	九十九G	作田競技員	九十九		-		千葉市B	成田		-		LSレディース				
2C	千葉北G	山本競技委員	八千代中央		-		千葉北	浦安		-		船橋				
2D	柏G	立松競技委員	我孫子		-		柏	四街道		-		野田				
2E	佐倉G	鈴木理事	佐倉城南		-		匝瑳	袖ヶ浦		-		市川				
2F	千葉緑G	椿理事	八千代		-		千葉緑			-						

11月10日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
3A					-					-						
3B					-					-						

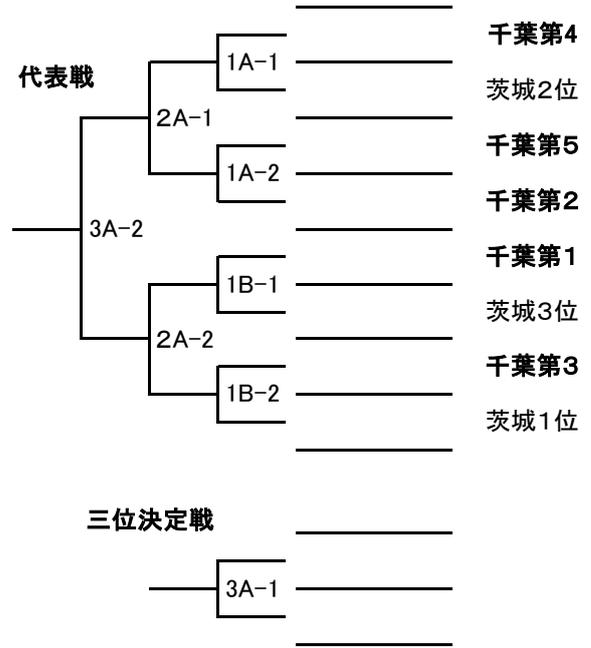
第18回 成田国際空港杯フレッシュマン大会 千葉3B予選

後援	成田国際空港株式会社(NAA)							
出場資格	<p>東関東支部に所属するチームで、連盟に登録済の中学1年生とする。また、監督、コーチも連盟に登録済の指導者とする。試合開始前に選手カード及び指導者カードをメンバー表に添えて提出し、照合を受けることとする。但し、LSレディースは選手登録書裏面の照合済み理事署名により照合不要とする。※選手カードは毎試合必ず背番号順にセットして下さい。</p> <p>ゲスト参加のLSレディースチームは2年生、3年生の出場を認める。また、1年生は所属チームとの二重登録を認める。11名以下のチームは2、3年生をボールボーイ、バットボーイ、ブルペン捕手、ブルペン補助、シートノック時の補助に補助員として2名起用できる。但し、選手への指示・指導(応援含む)は行えない。補助員は出場選手と同じユニホームは着用できず、試合前に本部席に口頭で申し出ることとする。選手登録人数は9名から25名とする。但し、試合開始時、試合途中で9名に満たない場合は棄権とする。1年生が26名以上在籍するチームは2チームの出場を認める。また、51名以上は3チームの出場を認める。26名以上在籍するが1チームで参加する場合はルール通り選手の入れ替えを行える。複数チームが出場する場合や合同チームは選手登録書の提出を行い、所属ブロック長の承認を得る事とし、選手・指導者の入れ替えは行えない。</p> <p>※複数チームが参加する場合、抽選時に別々のトーナメントに出場するように考慮する。</p>							
大会規則	<p>関東連盟大会規則による(同連盟HPにアップされている)</p> <p>ただし、コールドゲームは決勝戦含め3回13点、4回10点、5回7点を適用する。</p> <p>敗者戦も含めて、当初組み合わせ表の若番チームを1塁側とする。</p> <p>投球制限は、日本リトルシニア関東連盟ガイドライン(2022年9月12日)による。(様式Aと無地の様式Bを本部に提出)</p> <p>チームはグラウンド到着後速やかに指導者及び選手カードとメンバー表を提出する事。</p>							
支部代表戦選出	代表5チームは支部代表戦に出場する							
試合日程 試合開始時刻	千葉3B予定日: 11月3日(日・祝)、11月4日(月・祝)、11月10日(日) 予備日: 11月9日(土)、11月16日(土) 第一試合9:00、第二試合11:00、第三試合13:00開始予定(1日2試合のときも同じ)							
審判員	チーム帯同審判員とする。2名/チームとする。(代表戦は派遣審判とする)							
試合	各チームはロジンバッグ1個及び試合球(練習球可、公認契約メーカーが確認できること)3個を試合開始前攻守決定時に抛出し、試合球の試合中不足分はその都度抛出する。試合終了後、ロジンバッグ及び試合球は各チームへ返却する。メンバー表は25人記載用を使用し5部提出(コピー可)する。 投球数のカウントのため、1名/チームの配置を行う。							
荒天時の対応	大雨等明らかに無理な場合を除き天候不良の場合でも第1試合のチームは、グラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合のこと。グラウンド責任者は、天気予報、グラウンド状態を勘案しグラウンド担当理事、競技員と協議の上、中止又は待機を決定し2試合目以降のチームに連絡する。最終判断は南千葉ブロック長とする。荒天日は試合時間・グラウンド・審判員の配置等を変更することがある。							
大会競技委員 (敬称略)	<p>【連盟理事長】 三木慶造 090-4826-4469 【支部副支部長】 相葉延市 090-2633-3306</p> <p>【支部競技部長】 中島洋 090-2665-0938 【支部競技部副部長】 櫻井道德 090-4667-0983</p> <p>【支部競技部】 平山忠 090-9009-8530 / 大羽澤一雅 080-8877-1267 / 鈴木理人 090-8771-8514</p> <p>【支部競技員】 山本久 090-2646-6455/粕谷哲也 090-4616-9012/津野広昭 090-8879-5640/高木潔 090-2206-1811</p> <p>立松弘通 090-4200-6781 / 遠藤正彦 090-1116-9023 / 磯野嘉一 090-1605-5546 / 作田喜三夫 090-3100-5887</p> <p>【支部広報部長】 後藤敦 090-5206-1189 【支部広報部副部長・競技部】 椿和彦 080-4142-0995</p> <p>【支部審判長】 柴田公一 090-4065-7297 【支部審判部総務部長】 飛田泰宏 090-1504-2961</p> <p>【ブロック審判長】 【東】 中村新悟 090-1116-4465 / 【西】 千葉孝 090-2557-3092 / 【南】 川俣滋彦 090-5191-1909</p>							
提供グラウンド	千葉3ブロック							
	チーム名	グラウンド責任者	携帯番号	駐車台数(マイク含む)	チーム名	グラウンド責任者	携帯番号	駐車台数(マイク含む)
	柏	立松事務局長	090-4200-6781	10台(土曜5台)	九十九	中島事務局長	090-2665-0938	10台
	千葉北	山本事務局長	090-2646-6455	10台	千葉緑	村石事務局長	080-5198-7275	マイク込み8台
	木更津	粕谷事務局長	090-4616-9012	15台(大型×)	佐倉	高橋事務局長	090-4054-4223	10台
	君津	津野事務局	090-8879-5640	20台				
	茂原	大羽澤事務局長	090-8877-1267	10台				
	成田	作田競技委員	090-3100-5887	15台				
	山桑球場	鈴木事務局長	090-8771-8514	12台(大型×)				
野田	上野事務局長	090-2738-5835	8台(大型×)					
グラウンド提供 チームにやって いただくこと	<p>この大会は秋季関東大会等と日程が重なるため、全会場に役員を配置することが出来ません。従ってグラウンド提供チームの事務局長には、グラウンド運営責任者となって頂き、審判責任者と協力して大会運営に当たって頂きます様お願いいたします。尚、運営に当たっては、連盟規定集大会規定、同細則に従い、不明点等は中島支部競技部長と協議の上、進行願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド運営責任者は、第1試合開始時刻の1時間30分前に集合し、審判のミーティングに参加し、当日の運営についての打ち合わせを行う。 ・メンバー表と選手カード、指導者カードを確認する(合同チームは選手登録書も確認する) ・グラウンド使用料の徴収 1試合当たり2,500円、公営グラウンドの場合は3,000円を出場チームから徴収する。 ・審判・役員弁当代の徴収、領収書発行 審判・役員弁当代の徴収金額【(審判員数+役員数)×800円/チーム数×出場試合数】を出場チームから徴収する。(四捨五入により10円単位までとする) ・審判及び役員の弁当手配(700円程度) ・グラウンド運営責任者は、試合経過を関東連盟のHPに速やかにアップすることで、役員への電話連絡を不要とする。 ・グラウンド提供チームは7時30分から第一試合チームがアップできるように準備する。 ・結果並びに翌週の予定は、椿理事から役員、各チームに配信され、後藤、椿理事により東関東支部HPに掲載される。 							

第18回成田国際空港杯フレッシュマン大会(代表戦)

千葉第1代表	
千葉第2代表	
千葉第3代表	
千葉第4代表	
千葉第5代表	
茨城1位	
茨城2位	
茨城3位	

優勝	
準優勝	
第三位	
第四位	



月日	記号	試合球場	審判員	月日	記号	試合球場	審判員
	1A		派遣審判				
	1B		派遣審判				
	2A		派遣審判				
	3A		派遣審判				

リトルシニアの投球数制限に関する統一ガイドライン

日本リトルシニア中学硬式野球協会

投手の投球数制限に関しては、次に掲げるリトルシニア独自のガイドラインに基づくものとする。

- ① 1日最大90球以内とする。 (投手 A~F)
- ② 連続する2日間で130球以内とする。 (投手 ABCE)
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。 (投手 D・E)
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。 (投手 A・D・E)
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球を可能とする。 (投手 F)
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒及び、20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。
(例：2ボール・1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)
- ⑧ 雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑨ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑩ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、この統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

投手の投球数制限における投球可能数のケース (投球数)

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	予備日	
投手 A	90 (93)	40 (46)		90	40 (42)		90 (92)	・・・ 上記 ①・②・④
投手 B		79	51 (56)		44	86 (91)		・・・ 上記 ①・②
投手 C			40	90 (95)		89	41 (45)	・・・ 上記 ①・②
投手 D	68	22 (26)	40 (42)		87	3 (6)	40 (45)	・・・ 上記 ①・③・④
投手 E	82	第一試合 21		46	第一試合 25	40 (46)		・・・ 上記 ①・②・③・④
		第二試合 27(30)			第二試合 19(22)			
投手 F	90 (95)		90		90 (94)		90 (92)	・・・ 上記 ①・⑤

※ ()内は打席の途中で制限数に達し、当該打者の打席終了まで実際に投じた投球数を示す。

以上

<様式 A>

投球数確認シート

【本部提出用】(試合終了後チームで保管)

大会名 : 第18回 成田国際空港杯フレッシュマン大会 チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		/		/		/		/		/		/		/		/	
対戦相手		VS	VS	VS	VS												
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数												
1		球	可・否	球	球												
2		球	可・否	球	球												
3		球	可・否	球	球												
4		球	可・否	球	球												
5		球	可・否	球	球												
6		球	可・否	球	球												
7		球	可・否	球	球												
8		球	可・否	球	球												
9		球	可・否	球	球												
球場責任理事(役員) 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

【投球数制限】

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、投球数カウント係が記入した本シート(原本)に球場責任審判員がサイン後、球場責任理事(役員)及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ② 監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④ 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 第18回 成田国際空港杯フレッシュマン大会

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球場名 :

< 記入例 >		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正	正正正	正正正	正正正	正正正					90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注)五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記入欄 】													
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】 注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④ 上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。

- また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 様式 B' やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
- ② 試合終了後、責任審判員が保管する。